

電気眼振図		S128		
電気眼振図		担当部署		
電気眼振図		生理		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		同意書あり		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→平衡機能検査→電気眼振図：皿電極 4 誘導以上の記録を行った場合(各科で実施)		
	2	電子カルテ→指示①→生理→平衡機能検査→電気眼振図：その他(各科で実施)		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		該当なし		
検査受付時間		8 : 45～17 : 30		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	人体	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		ベッド不可		
検体受入不可基準		検査に同意を得られない患者		
保管検体の保存期間		特記事項なし		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部		
測定時間		各科による		
生物学的基準範囲		該当なし		

臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	特記事項なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		<p>眼振を含めた各種の眼球運動の記録を残すことができ、眼振を定量的に解析、閉眼や暗所開眼状態の眼球運動の記録を行うことが可能である。1)自発眼振の見分け方—眼振緩徐相の検討、2)前庭性眼振の緩徐相速度の計測、3)中枢性・自発眼振の検索、4)先天性眼振の鑑別、5)中枢所見としての注視方向性眼振の検出、6)小脳障害を示唆する rebound nystagmus について、7)異常眼球運動の検出、などの検査を行うことが可能である。</p>				